

SHIRAKAWA

試験用
小型採種用脱穀機

R-7

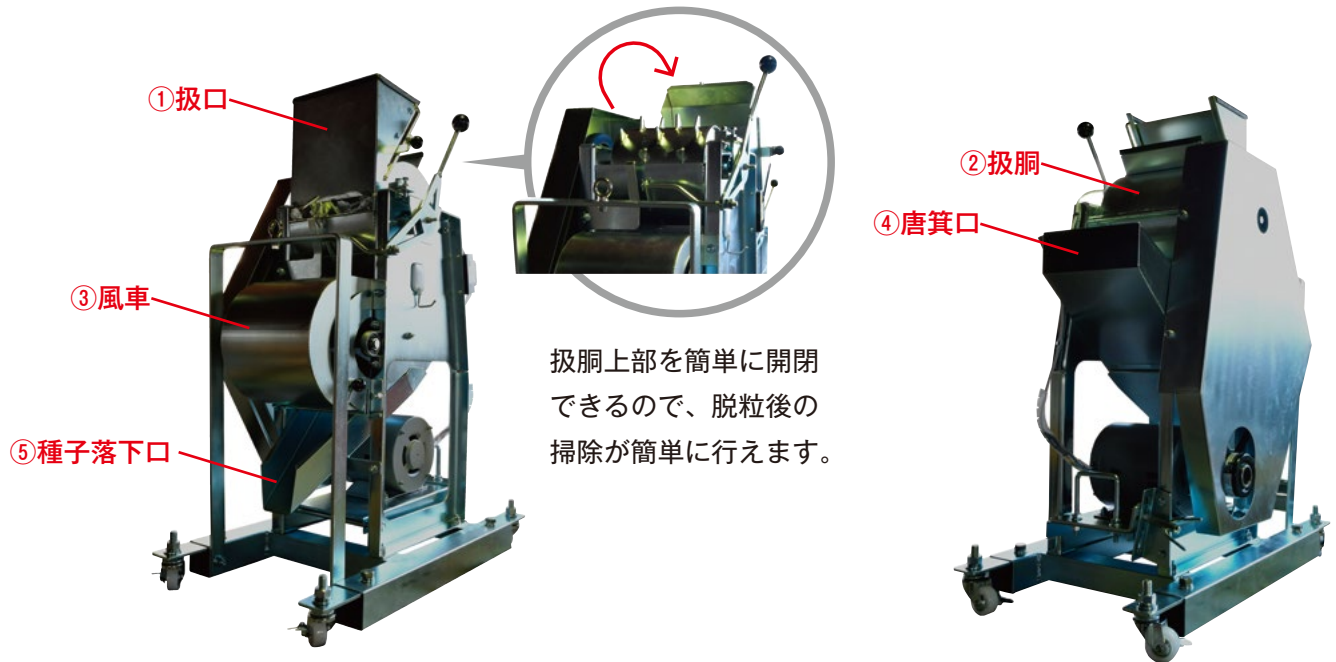
取扱説明書

本機は、系統試験調査において、稲麦類の脱穀脱芒調整作業を省力能率的に行うために開発された試験用小型脱穀脱芒機で、稲麦等の穂先を切断したものを処理するのに最適な機構を装備しております。モーター軸に無段変速機が装備されており、稲麦の品種に応じて最適な扱回回転数を選択でき精度の高い脱穀脱芒調整作業が可能です。

R-7 仕様

機名	試験用小型脱穀機	
型番	R-7	
方式	風力可変式（風力選別機能有り）	
機高 (H)	810mm	
機長 (L)	680mm	
機幅 (W)	320mm	
重量	30kg	
モーター	出力 プーリ 回転数	200w 減速機 P-86-MA-14 50C/S=1440rpm 60C/S=1730rpm
扱回	径 × 幅 扱歯数 回転数	170mm × 150mm 30 本・受刃 6 本 50C/S=560-940rpm 60C/S=670-1130rpm
風車	翼数 径 × 幅 プーリ 回転数	4 枚 170mm × 245mm VA1- 4" 50C/S=470-780rpm 60C/S=560-940rpm
電源	単相 100V	
その他	移動キャスター付	

機体構造



特徴

- 扱胴部が完全密閉式になっており、開閉レバーにより胴下を開いて脱穀、脱芒された稲種子を落下させ、唐箕により風選後受け箱に回収します。
- 脱穀、脱芒された稲種子は、レバーの開放により全量完全に落下するので、扱室内部に種子が残留しませんから多品種を迅速に処理できます。
- モーター軸に無段変速機を用いる事で、稲麦の品種に応じた最適の扱胴回転数を設定することができ、精度の高い脱穀調整作業ができます。
- 扱胴上部を簡単に開閉できるので、脱粒後の掃除が極めて簡単におこなえます。

取り扱い

- 穂首より切り取りたる 1 株の穂を持って、扱胴上部の挿入口へ置き、シャッターを開けて、回転する扱胴内に落下させてシャッターを閉じる。(落下口は閉塞状態)
- 2 ～ 3 秒程度で完全に脱粒の状態になるので、落下口を徐々に開けると子実は落下し、風選され、流し口より種子受け箱に回収されます。